

農の会・欠ノ上田んぼは2年目です。早川港の海水で種籾の選別をやり、水につけて、苗づくりから始まりました。田植えは腰が痛かったこと、線にうまく植える事が出来なかった。だんだん稲の穂が膨れてくると嬉しくなりました。ここまで来ると今年は稲刈りもしたいです。喜びが伝わってくる。去年は身体の不調で出来なかった。今年は最後までやりたいです。田んぼが俺を呼んでいるよ。とんぼもたくさんいるよ。生きているよ、私も生きている！

欠ノ上田んぼには柿と栗の畑があります。1月に柿の木の剪定をやりました。最初はあまり切らず、実がなるように剪定しました。手が冷たくなり、明神ヶ岳の山に積もった雪が、冷たい風に乗ってほっぺにあたり寒さに震えながら剪定をしました。だんだん大胆になって、柿の枝に風が通るように大きい枝をどんどん切りました。そのせいか、最初に切った柿には実がなくなっていますが、大胆に切った柿にはあまり生っていない！剪定しなかった柿には小さい実がたくさんあります。ヘタ虫がついて落ちてしまいました。夏には下刈りをしました。手鎌でやりました。昔父と一緒にしたのを思い出しました。今それが役に立っています。父に感謝します。親はすばらしいと思いました。しかし、子供の頃は、毎日手伝いをさせられたので、百姓が嫌いでしたが。

9月の今、田んぼには、赤とんぼが風に吹かれながら

ナチュラルさん 作 おかひゆか



から稲穂にとまったり、柿畑栗畑の草に飛んでいる。そして久野川の流れて、冷たい川の風が吹いてくる。自然の豊かさを感じる。稲刈りを楽しみにしている。

通信が置いてあるお店

カフェ アイラ

平塚に店を構えて9年、小田原の朝市でご存じの方も多と思います。

品質の良い珈琲を売ることに、非常に気を遣っています。(中村)

ラジオ体操の話

ロンドンオリンピックがめちゃくちゃ盛り上がった。体操の内村選手が金メダル。

ニッポンチャチャチャ。

いくら体操と言われても、吊り輪にぶら下がっているのもつらい私たちにとって、体操と言ったら

ラジオ体操

日本国民であれば、街角で不意にあの第一のピアノが流れたらその場でク

新規会員 “募集中” 小麦の会

初年度は震災、2年目はイノシシに翻弄された小麦の会ですが、3年目となる今年もめげずに明るく、新体制のもと小麦作りがはじまります。機械小屋の向かい側にある小麦畑でパン用小麦の栽培をします。6月の収穫まで、草刈り、麦踏も含め全部で10回ほどの作業です。第1回目は10月28日(日)9時より、畑の準備。草刈り、電気柵の準備、鶏糞取り・鶏糞まきなどが主な作業です。

参加費:3000円 (分配10キ口)

●申込み、問合せ、

近藤哲雄(こんどうてつお) 0465(25)3088

tetsuo_k240@m.jcnnet.jp

ゆんたく広場

なんくる農園 松本 邦裕

周りではどンドンと稲刈りが進んでいく...なんくる農園は来週あたりには稲刈りをしたい。まだ準備は整ってはいないので急がなければ。

今年のお米づくりは最後に大きな感謝を頂いた。今年腰の状態があまり良くなく思うように農作業ができない状態。特に田んぼの作業は...稗だらけでどうしようもない状態の高田田んぼ。諦めかけていたところで山ちゃん田んぼの親分、山ちゃんが皆さんに声をかけてくれた。総勢20名近くの方が2日間にわたり稗やコナギをとりつくしてくれた。本当に感謝！お陰さまでいつでも稲刈りができる状態に。

なんくる農園も多くの皆さんのおかげでなんとか維持ができています。現在は週2回の宅配とほぼ毎週日曜日の市への出店。更に今度は新しく出来たお店にも出店を計画中。少量とはいえ週4回の出荷をこなせるのか不安もありますが...益々忙しくなると今まで以上に農の会の色々な活動に参加できなくなっていく...今回の田んぼのヘルプも農の会の皆さんの助けがあてのこと。これからどんな形で、少しでも農の会の行事に係っていけるのかな...なんくる農園もなんとか自立しつつあるが、これからは農の会に集う皆さんや生産者仲間の皆さんと、また色々な活動を通してかわりを持ちつつある皆さんとどのように力を合わせ、互いに学びあい、ともに生きていくのか...暮らしていくのか。自立しつつ多くの皆さんとしっかりと共生していくのか、しっかりと自分なりに見つめ直していきたい。農の会全体も同じことなのだろうか...多くの皆さんが気軽に集える空間あったらいいな...協働しつつ創造していく何かがあればより楽しいのかな...

ネクネしてしまうに違いない。

第一は誰でも条件反射でクネクネするはずだが、第二は少しマニアックだ。実は第一ができた翌年に第二ができたらしい。第二の思い出と言ったら、第二の最初で出てくる

ゴリラダンス (通称)

あの、股を開いて、両腕を力こぶ握って踏ん張る“あれ”だ。

小中学校の頃、男子でさえ照れくさいゴリラダンスをやるときの女子の皆さんの恥ずかしそうな顔が思い出される。好きな



映画「にっぽんの嘘」

報道写真家 福島菊次郎 90歳

ヒロシマからフクシマ、原爆被爆から原発被曝まで戦後日本の暗部を鷹のような鋭い眼差しでシャッターを切り続けて来た、報道写真家福島菊次郎の自叙伝とも言えるドキュメント映画を観てきました。膨大な数の写真は、戦後10年間撮り続けた広島原爆被爆で苦しむ一家、水俣病患者の暮らす水俣、国の政策で農地を奪われた三里塚農民、反戦運動の労働者や学生、上関原発建設を阻止し続ける福島島民、そして3・11福島原発事故など一貫して民衆を撮り続けて来たものばかりです。90年の人生は、過酷な現場で撮影をしながら、家に帰ればひとり三人の子どもを育てる父親、子育てを終え60歳過ぎてからひとり瀬戸内海の無人島に渡って自給生活、11年かけて三千点の展示用写真パネルを作って全国で写真展を開き、何冊かの本も書き、そして90歳になった今でも生まれ故郷に近い瀬戸内海の海辺の町のアパートで一人暮らしをしながら、気力は未だ衰えず混沌とした現代を鷹のような目で見続けています。報道写真家福島菊次郎の魅力は、時代を鋭く切り取る写真と一途な生き方です。無人島で家をつくり、井戸を掘り、海で魚を採り畑を耕す暮らしの在り様は、無限にあると思えば、資源を消費し現代に生きる日本人に強い問題を投げかけているように思えます。

近藤まごのり

ご一読ください！～機械整備について 9月9日（日）9時～（鈴木江美留）

収穫の秋を前に、バインダー・ハーベスタ・モミすり&精米機の整備を行いました。そこで説明されたこと・決まったことの中から大事なポイントを以下にまとめます。

1. バインダー

★使用する前日までに、必ず試験運転をしてください！

稲刈り当日。みんなが田んぼに集まって、「さあ、刈るぞ！」と思ったらバインダーが動かない・・・！なんて、困りますよね。修理をお願いするにも、「今すぐ田んぼまで来てくれ」というのはちょっと迷惑です。使う前日までに必ず試運転をし、調子が悪ければその時点で修理をお願いするようにしてください。

★ひもの通し方をきちんと確認しておきましょう！

通す順番をひとつ間違えただけでもうまく動かない、結束できないことがあります。作業途中で切れてもきちんと回復できるよう、最初にしっかり確認しておきましょう。

★掃除のポイント

機械の脇のカバーを開いて、中（＝写真・矢印の部分）のゴミを取り除くことを忘れずに。ココが詰まるとうまく動きません。



2. ハーベスタ・モミすり機（ブンブン丸）

★掃除のポイント

使い終わったら最後に必ず、蝶ネジ部分など簡単に開くところはすべて開いて、しばらく空運転をして、中のモノを出し切ってください（空運転中にブロワーで吹き飛ばすのがベスト）。そうしないと、次に動かした人が、「血まみれのネズミが飛び出してくる」ホラー体験をすることになります。

3. モミすり精米機（ヤンマー）

★精米機は毎回！必ず！掃除をしてください！

掃除をせずに放置すると、ヌカが部品にこびりついたまま固まって、機械が動かなくなってしまいます。使用したらその度に必ず、機械の中を掃除してから帰ってください。＜掃除方法＞ 精米部分を解体して、中に入っている米を取り除き、部品に付着しているヌカを掃除する。解体方法は機械にマニュアルをつけておくので参照のこと。

4. 機械の管理担当

①コロガシ

幅広 3台は、夢田んぼ・新永塚が管理、幅狭 3台は、船原・欠の上・子の神が管理する。借りるときは管理担当に連絡する。置き場所は後日決定。

②その他の機械

担当を割り振り、それぞれが責任を持ってメンテナンスする。機械の調子が悪いときは、まずは管理担当に連絡して相談。それでも対処不可能な場合は、星野さんにお問い合わせするなど、専門家による修理を検討。

＜バインダー＞ 3番＝船原 4番＝子の神 5番＝山北 2条刈り(2番)＝坊所

＜ハーベスタ＞ オオシマ＝新永塚 フジイ＝山ちゃん

＜モミすり機（ぶんぶん丸）＞ 欠の上

＜モミすり精米機（ヤンマー）＞ 山崎さん（天豆）

通信が置いてあるお店

アイラナブログ
cafeailana.boy.jp/

あの子のゴリラダンス顔に、少しときめいた男子は私だけではないはずだ。

やっとな夏が終わった。暑かった。夏と言ったらラジオ体操

生まれた時から大人だった私には、なぜ貴重な長期休暇なのに、早朝から過剰に元気な母弘子にたたき起こされて、スタンプカードを首に公園に行かなければならないのかわからなかった。

ケツ！しゃらくせえとか言いながら、これまた朝から過剰に元気なおじさんのラジオに合わせてクネクネして、スタンプをもらう。たまったスタンプの商品は

鉛筆2本・・・チツしかもその頃、ジョギングブームで、終わると誰からともなく、爽やかにグラウンドを走り始める。

お前ら走るんじゃねーよ！最近は、“あーたーらしい バカが来た”

などとふざけて歌っている。45歳になってまで反抗期が続いているようだ。まだまだこれからだ！

カフェ アイラナ
店主 島村康行

●機械管理掲示板●

Obbs.jp/nounokaikikai/